

東海道五十三次 27 番目の宿場

令和7年2月13日
袋井市長定例記者会見資料
総務部秘書課

市制施行20周年記念ロゴマークが決定 ～お祝い機運の醸成に活用～

- ◇本市は、2025年（令和7年）4月1日に市制施行20周年を迎える。周年を周知し、お祝いする機運を醸成するために活用するロゴマークを公募したところ、全国から489件の応募があり、そのうち4点を最終候補として選定した。
- ◇市民の意見を最終選考の参考とするため、市民投票を実施。総数4,937票の投票をいただいた（公共施設・イベントでのシール投票91.7%、WEB投票8.3%）。
- ◇最終選考は、次代を担う若者の代表として、袋井市と同年であるはたちの集いの代表者の4名に依頼。デザインや作成意図、市民投票の結果を踏まえて、投票で決定した。
- ◇ロゴマークは、周年に関わるPR活動（各種印刷物、市ホームページ・SNS、市職員の名札等）で使用するほか、「袋井市制施行20周年記念」等の冠称事業で使用する。

【概要】

1 採用作品



【作成意図】

袋井の文化や豊かな自然がモチーフ。
下部の線は東海道五十三次の中心であることを表しそこからエコパスタジアムとクラウンメロンをモチーフにした「ふくろい遠州の花火」が打ち上げられています。
花火の色は市の木（キンモクセイ）と市の花（コスモス）を参考にした。更なる飛躍に向け、花火のように晴れやかに、力強く歩み出してほしいという願いを込めました。

- 2 制作者 平井 優介（ひらい ゆうすけ） 静岡文化芸術大学 1年 19歳
- 3 表彰 表彰楯、副賞（賞金3万円、クラウンメロン1年分（12玉））
- 4 最終選考者（はたちの集い代表者） 4名
(1) 山田 梨乃（やまだ りの）大学生 (2) 土屋 美友（つちや みゆ）大学生
(3) 鈴木 翠心（すずき すいしん）大学生 (4) 高橋 一成（たかはし かずなり）大学生
- 5 最終選考作品に対する最終選考者のコメント
 - ・東海道五十三次のどまんなかや、ふくろい遠州の花火は、市にとって大きな魅力のひとつであり、それがモチーフに含まれている点が非常によいと感じた。ロゴマークを通じて、さらなる魅力を伝えられると考えた。花火のようにさらなる飛躍と発展を遂げていく街となるよう作品を選んだ。（山田）
 - ・東海道五十三次がさり気なくデザインに溶け込んでいるところが面白いと感じた。候補の中でも華やかで、目を引いた。ロゴのように華やかな街になって欲しいと思い選んだ。（土屋）
 - ・袋井市が誇る、エコパスタジアムと花火が分かりやすくデザインされており、市民以外も含めて、たくさんの方が袋井市の魅力に気づき、訪れて欲しいと思い選んだ。（鈴木）

【お問い合わせ先】

袋井市 総務部 秘書課 秘書係（担当：原田）

電話：0538-44-3103 FAX：0538-44-3150 メール：hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp